

令和元年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	会報「地域づくりinほくり」編集・発刊事業	事業経緯	継続	実施体制	主催	担当所属	企画調査室
事業名 (大項目)	国土の利用・整備・保全に関する資料等収集整理事業	分類名 (中項目)	資料収集・編纂事業		事業区分	調査、資料収集	

1. 事業目的

本事業は以下の編集方針で発刊する。

1. 会員への機関紙としての役割を果たすとともに、幅広く地域の方々にも読んでいただける内容を盛り込む。
2. 会員情報を含め、公益事業活動や地域の動き・情報等を網羅する。
3. 有識者の寄稿を通じて、さまざまな情報を発信する。

2. 事業実施体制

寄稿: 地域の有識者、地域づくり活動実践者、行政関係者 等
 編集・執筆: (一社)北陸地域づくり協会
 印刷・製本: 委託

3. 事業実施概要

1. 発行頻度: 年3回(2019年夏号/2019年秋号/2020年新春号)
2. 発行部数: 2,200部
3. 仕様: A4判オールカラー、16~20p
4. 配布先等:
 - ・会員、関連団体・機関、県・市町村、県立図書館、地域の有識者等に配布
 - ・当会ホームページに掲載

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

- ・平成22年度から紙面のほかに、当会ホームページにも掲載し幅広い層へ情報発信している。
- ・他のメディアであまり取り上げられないような地域づくりの動きのほか、災害関連記事等もタイムリーに掲載し、他の地域情報誌との違いが評価を受ける。
- ・令和元年度は、気候変動、災害に合わせ、公益事業で実施した講演会要旨、研究助成事業での防災学習、平成20年下新川海岸高波災害から10年間の防災対策事業の取り組みを寄稿いただき掲載した。また、地域活性化の拠点として注目されている道の駅について、全国道の駅連絡会シンポジウム、道の駅「西・奥会津シンポジウム」の内容を紹介した。

2019年夏号

2019年秋号

2020年新春号

北陸有識者
人生のキビを味わうソルガムエール (長谷川幸典)

北陸有識者
棚の文化を次世代につなぐ (藤原三智子)

シリーズ 次世代に向けた地域の魅力を
“高粒の元氣”はみんなで決めよう (新井裕子)

人・景・物をつなぐワクワク感でまちにむかえ

ホームページ

北陸有識者
餅の文化を次世代につなぐ (藤原三智子)